

【福岡会場】

■日時：11/25（火）13:00－18:00、11/26（水）9:30－16:00

■会場：TKP ガーデンシティ博多アネックス（ネプチューン）

■プログラム：下記の通り

（第1日目）

時間	内容
13:00	開会
13:05～	基調講演～地域における再生可能エネルギー事業の意義と魅力～ 伊藤 宏一 氏／千葉大学大学院 会計ファイナンス研究科 教授
14:15～	再生可能エネルギーの基礎（講義） 環境エネルギー政策研究所（ISEP）
16:00 ～ 18:00	ワークショップ（ワールドカフェ） ・地域主導型再生可能エネルギー事業の意義、期待と課題について ワールドカフェは、「カフェにいるときのような気軽な雰囲気」で話し合いをするためのワークショップ手法です。4～6人に分かれてテーブルを囲み、組み合わせを替えながら対話を積み重ねていくうちに「全員と話している」ような効果が得られるよう設計されています。各参加者が対話の中で「気づき」を得ることが主な目的です。

（第2日目）

時間	内容
9:30～	自治体による取組（事例紹介）～地域主導型再生可能エネルギー事業への支援事例～ 宝塚市 環境部 環境室 新エネルギー推進課 課長／政処 剛史 氏
9:50～	自治体による取組（事例紹介）～地域主導型再生可能エネルギー事業への支援事例～ 新潟市 環境部 環境政策課 スマートエネルギー推進室 室長／小泉 英康 氏
10:10～	事業化検討協議会の取組（事例紹介）～地域協議会の取組と克服すべき課題等～ 村落エナジー株式会社 代表取締役 /井筒 耕平 氏
10:30～	パネルディスカッション
11:30～	休憩
12:30～	行政/事業者の役割と合意形成（講義） ・地域主導型再生可能エネルギー事業を推進するに当たっての行政/事業者の役割と課題、合意形成及び場づくりの方法等
13:15～	ワークショップ（OST） ・行政/事業者の役割や連携における課題等について OSTは、課題についてのプロジェクトや討議テーマを参加者が自ら提案して仲間を募り、ミーティングを行う中で、プロジェクトを創出することのできるワークショップ手法です。参加者の自発性を喚起し、主体的な発案・対話や、ワークショップ終了後の行動を促します。
16:00	閉会